



Yonago East Weekly

【 素敵なロータリアンを目指そう、思いやりの心を持って 】

- 創立／1968年4月24日 ●事務所／米子市西福原1-1-55 スマイルホテル米子 Tel (0859) 32-5531
- 例会日／水曜日12:30～13:30 ●例会場／ANAクラウンプラザホテル米子
米子市久米町53-2 Tel (0859) 36-1111
- 会長／長棟信泰 ●幹事／永島正道 ●会報／赤山俊寛

出席報告

会員数 109名
出席数 69名 欠席数 33名
出席免除会員 7名 荒川(雄)君 杉原(弘)君
新納君 佐田山(有)君
宮本(守)君 高橋君 小谷君

出席率 69.44 %

ビジター

メイクアップ

岩崎(浩)君 (12/12 第2回次期ガバナー補佐会
…津山鶴山ホテル)
会員2名 (12/12 次期クラブR財団委員長研修会並びに
地区補助金管理セミナー…津山鶴山ホテル)

宇田川君 (12/17 米子RC)

宇田川君 (12/21 境港RC)

今週のお祝

主・夫人誕生祝： 3日種田 進君 6日荒川圭三君
30日杉本真吾君

結婚記念日祝： 1日尾沢裕子君 2日野津一成君
2日井上雄介君 9日安達聡子君
18日面谷博紀君 18日内田良一君
20日塩谷眞司君 23日岡 宏徳 君
24日長谷川渉君

スマイルBOX 38,000 円 (621,000 円)

出席100%祝： 荒川(雄)君
本人誕生日祝： 荒川(雄)君、松浦君、木美君、
主・夫人誕生祝： 種田(進)君、杉本君
結婚記念日祝： 荒川(雄)君、漆原君、尾沢(裕)君
井上(雄)君、安達君、内田君、塩谷君
岡君、長谷川君

創立記念日祝： 内田君
11年9ヶ月、大変お世話になり感謝申し上げます。
会員の皆様方のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。
：事務局 福谷

会長挨拶



皆様こんにちは。本年最後の例会となりました。先週はクリスマス例会という事で、親睦委員会の方々には非常にお世話になりました。TOKYO COOLというお笑いの方が来られて、子供さんや皆さんが笑いの中で出来た事が良かったのではないかと思います。本当のクリスマスはまだ先ですが、アメリカの小説家オー・ヘンリーの小説に「賢者の贈り物」というのがありまして、相手を思いやる気持ちが確認されたという話です。このクリスマスの時期に相手が喜ぶ事を、そして皆さまの大切な方が喜ぶことをしてあげていただきたいなと思います。

それから、今日は福谷さんの最後の日となりました。12年間在籍して頂いておりましたが12月をもって退職をされるという事です。非常に残念なのですが、体調等のこともあり、この後挨拶があると思いますのでお聞き頂きたいと思います。

福谷さんより挨拶

約12年間事務局員として勤務させていただきました。本当にありがとうございました。会員の皆様の益々のご活躍とご健勝お祈り申し上げます。本当にありがとうございました。

幹事報告

- (1)RI会長杯ワールドゴルフ大会について
(2/14～20日までの期間に、世界中のロータリアンへ「ポリオ寄付」を呼びかけて開催)…第2620地区小林ガバナーより
- (2)第37回全国ロータリークラブ野球大会(親睦大会)
(大会事務局より) … 野球同好会 参加申込済
- (3)創立60周年記念誌 … 松江南RCより
- (4)米子市中学生作文コンテスト
12/12(日)新聞折込チラシ…用紙は王子製紙様からの寄付
- (5)「触れ合い広場」… 吉岡会員投稿、ご一読ください
- (6)他クラブの例会変更等 … 掲示板をご確認下さい
当クラブ、新年最初の例会は1/12(水)
(2/9 5RC合同例会 5月 ロータリー奉仕デー)

【 次回プログラム 】

- 1/12 「ロータリーの友紹介」 … 雑誌委員会
「職業奉仕について」 … 種田進会員
- 1/19 「年男放談」 … 会員



<本日のプログラム>

「未来の扉を拓く」～米子港活性化ゾーン活用事業～

高橋孝之 会員

ロータリークラブでは山陰ビデオシステムという会社で登録をさせて頂いておりますが、複数の仕事をしておりまして中海テレビでは会長を務めております。あと今日ご報告いたしますスリーブイという会社を先月25日に登録をいたしました。その話をさせて頂きたいと思っております。



我々が住んでいる山陰の米子から出雲までの間に人口が集積しています。約60万人近くの方が住んでいます。もう一つは出雲・むきばんだを始めとして大変ロマンと歴史のある場所でもあります。むきばんだについては弥生時代から諸外国との交流があったという事です。そうした中で、ここの松江～米子のエリアの中海を中心に話をさせて頂きます。この周囲がざっと84キロに渡ってあります。汽水湖、斐川水系ですので斐川から宍道湖そして中海を通して水が外へ出ていくという事でもあります。米子港というのは一番奥まったところにあるので水の流れが激んでしまう場所でもあるという事です。もう一つ交通体系の話としますと、弥生時代からのエリアは諸外国と交流があったと思われるのですが、江戸時代になると北前船とか船文化というのが何百年も続いてきたわけで、米子で荷物を降ろして松江等に荷物を運ぶ時代があったわけです。ある意味、米子は船文化で物流の拠点でもあったともいわれています。ところが明治になると鉄道を作ろうという話になり、動力は石炭、石炭は危ないというわさが拡がり郊外へ押しやります。米子の発祥の地は米子港、灘町・三旗町・立町・寺町近辺から発達して来ているんですけども、鉄道の駅が郊外を通す訳で、明治に米子駅が出来ると駅前が賑わってくるという事です。戦後になりますとモーターカー、車の時代になってきます。そうするとご存じのように郊外型になってまいります。大山、米子市手前の土地、6,000坪あります。朝日町まで歩いて10分ちょっと中心市街地なんです。ここが出来たのが40年前、1972年に完成、構想はそれより10年前。孫産業都市と言われた時代がありました。国と県が一体となって完成させました。液状化等もあり「この土地は使い道がない」と言われていますが、我々が開発していこうというプランです。ここに「海の駅」「道の駅」「空の駅」を作るという一つのプランが出来ました。米子空港・中浜港から米子港まで焼く10分、米子港から出雲空港まで約70分、松江まで約30分。3年前・コロナ前にプランを立てたわけですが、13番のところには観光船が60船来て海外から6万人のお客様が来ていた。また鬼太郎ロード・境港には270万人のお客様が来ていた。米子空港にエアバスを就航させることで一気に拡大できるというこのプランを立てたわけですが必ずや元に戻ってくると思っています。「船文化」というものをここに持ってこようという事と「海の駅」「道の駅」「空の駅」を作るというプランです。米子市に「ビックシップ」というのがあります。ホテル等がたくさんありますが、ここから赤い線をたどって行くと「米子活性化ゾーン」という所まで行きます。歩いて行ける距離です。青い点線は船で移動できるという事を書いています。米子高島屋と連携して動線と循環バスを流す計画もしています。米子市を一带として歩けるプロムナードとして使っていく。この間には公会堂とか美術館とかも色々ありますので、こういった一つの街並みを作るという事です。市民の皆さんと一体となって中海の浄化活動が始まったのが2000年、ざっと22年前です。汚くなった中海を再生させようとした会議をしました。誰もが元に戻すのは難しいと言いました。実は私も難しいと思いました。10年で泳げる海にしようとしてキャンペーンをスタートしました。あれから20年以上たちましたが、オープンウォータースイミングの日本水泳連盟認定競技場になりました。中海からオリンピックに選手が出ています。中海の良さを東京の方々に話をしました。三菱UFJ信託銀行・KDDI・全日空等々。ロンドンの調査会社からも3年前に調査して頂きポテンシャルについてお墨付きを頂いたので投資が始まりました。

【新会社社名】

カブシキガイシャスリーブイ

株式会社スリーブイ



Vision (ビジョン)
Venture (ベンチャー)
Vitality (バイタリティー)

「次世代を創造する」プラットフォームの構築

人間らしさを追求する「人と知恵の集積地」としての中海・大山圏域へ人々の意識は「心の豊かさ」、「人間性回復」といった価値観の変化に伴って、新しい社会の在り方へと動き始めました。SDGsやSociety5.0に象徴されるように新たな技術を取り入れ、自然・歴史・文化を守り、共に生きていく社会へと時代の潮流が大きく変化しています。この潮流の変化をとらえ大胆な事業開発に取り組みます。「人と知恵の集積地」として古代から受け継ぐ遺伝子を開花させこの地に新たなプラットフォームを今構築します。「心の豊かさ」と「最先端テクノロジー」の融合を生むチカラを持つ中海・大山圏域

かつて文明は海をこえて、この地に到来しました。その足跡は、数多くの世界の人々が訪れる神話の故郷として色濃く残っています。さらにこの地は、ラムサール条約登録湿地である中海をはじめ、生態系が守られている自然の宝庫です。この地域には「新しいものを受け入れながら自然と共生できるチカラ」が古代より受け継がれているのです。

中海・大山圏域のポテンシャル

① 素晴らしい立地特性と地域資源

米子港周辺は米子市の原点といわれる地域です。近くには米子城跡、湊山公園、ヨットハーバーといった市民の憩いの場や、また食品工業団地、湊山公園、さらに地元大学医学部附属病院や診療所が点在しています。中心市街地にも隣接し人が生活する上で必要な社会インフラが充実しています。

② 利便性の高い交通体系

米子鬼太郎空港では米子ー羽田間にB787(乗客数335名)が就航。国際線も香港・上海便の他にも就航することが予想されます。更に境港は大型クルーズ船が就航。また高速道路米子道入り口まで15分、米子駅まで10分と空・海・陸の利便性が高いエリアです。

③ 市民が守り続けてきた環境

中海・米子港は、中海体験クルージング、中海アダプトプログラムなど市民が愛し守り育てた自然。約8千人による湖岸清掃やオリンピック代表選手が出場する中海オープンウォータースイムをはじめ、中海はこの地域に暮らす人々にとって、象徴的な存在であり、これからも守り続ける貴重な財産です。

④ 楽しめる多様な観光資源

中海・大山圏域には、水木しげるロード、皆生温泉、大山国立公園をはじめ多様な観光資源があり、国内外からの観光客も多く訪れています。自然豊かで食文化のレベルも高く、圏域全体が癒しのゾーンとして愛されています。

米子港周辺を「次世代型モデル都市」へ

① 日本を代表する先端産業のサテライトオフィスの構築

未来社会を支える「医療」「環境」「防災」の技術開発分野に取り組んでいる先進企業の誘致に取り組みます。「未来の技術が生まれる知の集積地」を実現する心臓部として、8K・5G・AI・IoT・クラウドなど最先端ICTを活用し成長するエリアを構築します。

② 中海を活かす新しい観光コンテンツ拠点の整備

世界の富裕層が訪れ滞在する質の高い商業拠点、宿泊拠点を整備します。特に「中海を楽しむ遊・食・体験」をコンテンツとしてクルージング、スポーツアクティビティ(ヨット、ボート、カヌー)、遊覧船就航などを実施します。豪快な火山地形、豊かな森林、多彩な海岸景観と独特な生物環境を特徴に持つ大山隠岐国立公園において、そのセンターポジションとして、自然の荘厳な美しさを大いに活用していきます。

③ 市民のチカラを育てる交流広場の整備

自然との共生を目指す市民のチカラは、これからの地域社会のデザインを構築する上で大きな財産であり、中海・米子港周辺はまさしく「市民活動のシンボル」です。ここにサテライトオフィス利用者や観光客と気軽に語らえるコミュニティ広場を構築します。今までにないモノの見方、考え方、価値観といった新たな風によって市民活動は活性化し、新たな交流の仕組みを創出するとともに、この地域の応援者(交流人口)の増加に繋がると考えます。

次世代型モデル都市全体図

これからの社会が求めている「理念」「テクノロジー」「システム」が融合するモデル都市へ建物はすべて鳥取県産の木材を使用します！



harbor good

MINATOYAMA(仮称)

ハーバーグッドミナトヤマ

サテライトオフィス

「心豊かな生き方、そして働き方」を追求した環境を整備

サテライトオフィスの特徴

首都圏の企業メリット

① 大自然に囲まれた都市部でストレスフリーな生活が可能

通勤30分以内で一戸建て生活可能買い物・病院・学校等、社会インフラも充実。

② サテライトオフィスから東京本社まで約2時間

サテライトオフィスから米子空港まで車で15分。1日5～6往復のフライトと、急な会合にも十分対応可能。

③ まるで本社で働いているような最先端ICTを活用したオフィス

大型8Kモニターを設置し本社との一体感を実現。5Gなど充実した通信インフラを提供。

① オフィス賃料等経費の削減

② 災害時のリスクの分散

③ 各世代の社員の生活環境に対応できる人事

(20代～充実した余暇

30代～子育て・教育40代～親の介護)

新技術を開発、3分野に特化した個性的なサテライトオフィスの建設

医療 地元大学医学部附属病院との新技術開発

8K内視鏡や5Gでのデータ送信・遠隔手術など最先端医療機器を開発、地元大学医学部との医工連携を結ぶ大手5社のオフィスを誘致します。先進医療に取り組む医療現場と機器開発。医療機器メーカーが容易に共同研究することができる優位性をアピールして企業誘致を実現します。

環境 中海・大山を活用した新たな環境ビジネス

中海の水環境改善技術などを軸に、日本の環境産業のリーダー企業を誘致します。新しい環境技術の展示場を構成。また大山山麓の大自然を活用する「大山版富良野塾」を現在準備中。中小企業とのビジネス連携を通して地域経済活性化にも貢献します。

防災 BCP支援という新たなビジネスモデル構築

災害対策は21世紀の最大のテーマ。全国の企業・地方自治体のBCP支援として、「防災」をテーマに、各分野で活躍する企業を誘致、AI・クラウド・IOTなどICTを利活用した、新しいビジネスモデルを形成します。

中海を活かす新しい観光コンテンツ拠点の整備(1)

海・空・道(ミソラド)の駅

海を活用した観光、憩い、アクティビティ... そこから生まれる新たな交流

海・空・道(ミソラド)の駅が生む、新たな交流スペース

A棟
イメージ図



船・水上飛行機・自動車で行ける日本初、海・空・道(ミソラド)の駅には、地域の山海の幸がにぎやかに並び、購入ができます。そして、様々なアクティビティが体験できるよう、ヨット、登山グッズ、自転車など海や山で楽しめるアウトドア用品も充実。またエシカル消費・フェアトレードといった特色ある店舗も誘致します。海・空・道(ミソラド)の駅は、市民の憩いの場として、滞在者達との交流スペースとして、新たな交流スペースとなります。

新たな観光コンテンツ

中海は水上アクティビティに優れたエリアです。ヨット、クルーザー、遊覧船等を米子空港はもちろん周辺観光地への交通手段とするほか中海周遊といった新たな観光コンテンツも整備します。四季ごと、また時間ごとに刻々と変化する自然の表情を堪能しながら、地元のお酒と食材に舌鼓といったおもてなしも。

長期滞在が可能な「我が家のようなホテル」



鳥取県産材によるCLT工法

68室の客室は1室15～25坪と、家族連れでもゆったり宿泊できるよう広めに設計全室オーシャンビュー
宿泊というより「滞在する」感覚でここを拠点に山陰各地を旅するもよし、大山の自然散策、歴史
探訪にゆっくりと過ごすのもよし。また温泉を敷設予定。各部屋から中海の夕日を眺めながら日
頃の疲れを癒すことも。温泉は宿泊者以外でも利用可能

市民のチカラを育てる交流広場の整備

これまでの市民活動に、新たな知恵・知識が加わり、新しい文化、新しいビジネスが生まれる

日本一のボランティア先進県である鳥取県。約23万人の鳥取県西部にも120以上のNPO法人があります。
特に「10年で泳げる中海に」を合言葉に多くの市民が活動した中海・米子湾は市民活動のシンボルゾーン。
ここに、サテライトオフィス利用者や観光客と気軽に語らえる場を構築することで、今までにはないモノの見方、考え方、価値
観といった新たな風によって市民活動は活性化し、新たな活動、仕組みが創出されます。
新たな創出は、さらに新たな文化となり、新たなビジネスを創出します。
2025年、大阪万博があります。これに焦点を当てています。
オリンピックは不幸にしてお客様が少なかったのですが、万博の時には沢山のお客様が来られます。その流れを米子は環
境と情報、そして医療で全国でも珍しいことをたくさん実施しているので、万博の流れで来て頂こうという事を願っております。

2030年を見据えた未来の扉を拓く拠点づくり

「人と地域と世界を繋ぎ、身近な足元にある価値と魅力をアピールする」
この事業のテーマは、中海や大山国立公園の大自然を身近に感じながら「環境重視」と「ICT技術の
利活用」による「心豊かに暮らせる」新たな都市の創出です。

現代の日本において、東京などの大都市は様々な産業が発展し、豊かな経済社会を形成している
ものの、人々は時間に追われる日々です。一方、地方は、人口減少による基幹産業の衰退など、経済
的には決して豊かではありませんが、近年「子育ては地方で」という若年層夫婦が増加傾向にあるな
ど、自然を身近に感じられる地方のほうが「心豊かな暮らし」が送れるのかもしれませんが。

だからこそ、地方は今、足元を見直し、地域の特徴・価値・魅力を再発見し、磨き上げ、世界中にア
ピールすることが必要だと考えます。それにより、新しい価値を持つ新たな都市が生まれ、国内外から
多くの人々が訪れ、更に新しい価値が生まれる…この地域におけるその核が、中海・米子港だと
私たちは考えます。

私たちは3年以内に最初のプロジェクトを完成させ、2025年大阪万博での供用開始を目指します。
さらに2028年には全プロジェクトを完成させ、2年後の2030年には「社会的共通資本」やSDGsに謳わ
れるような「心豊かな生活」が送れる地域を目指します。この地域に生まれ、この地域に育てられた
者として、中海・大山をはじめとした大自然への感謝と共生を再認識し、投資と知恵を呼び込む、そし
て人々の心の豊かさが感じられる持続可能な地域社会の実現に向け、挑戦します。

「金」か「知恵」か「汗」、ぜひとも皆様のお力添えを頂きたいと思えます。

